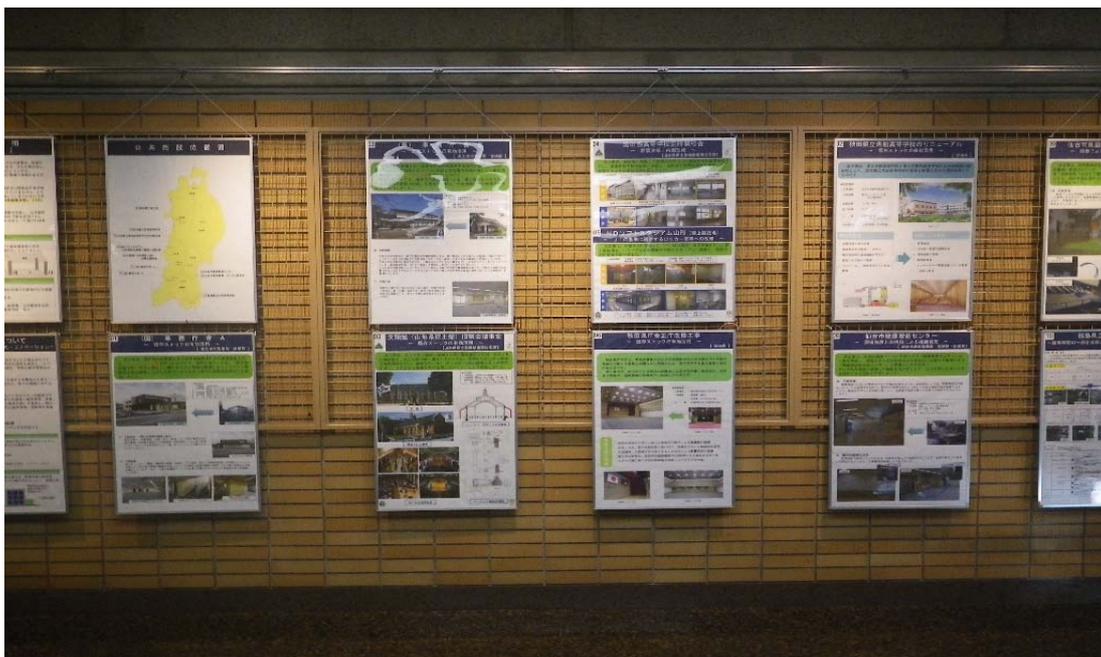


平成27年度 巡回建築パネル展開催状況

平成27年度開催テーマ

公共建築の可能性について
～東北地方における公共施設の長寿命化・リノベーション～



(国) 事務庁舎 A

～ 既存ストックの有効活用 ～

【 東北地方整備局 営繕部 】

本工事は、既存施設の耐震化及び施設狭隘解消のための増築整備を行うリノベーション改修を行ったものです。設計にあたっては、「歴史ある城下町・米沢に相応しい親しみやすい施設の実現」をコンセプトに耐震安全性を確保しながら行政サービスの向上並びに業務効率の向上を目指しました。



外観(南東面) 改修後

◆施設概要

工事場所	山形県米沢市		
工事規模	鉄筋コンクリート造 地上2階建 (既存庁舎)		
	鉄骨造 地上2階建 (増築庁舎)		
建築面積	増築前 約400㎡	増築後 約	750㎡
延べ面積	増築前 約800㎡	増築後 約	1,200㎡
工期	平成23年12月～平成24年11月		



外観(南東面) 改修前

□ 立面計画 ～通りの風景の継承と再生～

周辺の通り（勾配屋根・白壁・格子・板塀・ウコギ垣が構成される周辺環境）の風景を継承した勾配屋根・色彩計画とすると共に西側についてはシンプルな色彩として「蔵」をイメージした外観になるようにしました。



城下町に溶け込む空間形成

□ 平面計画

高セキュリティ（書庫・事務室を配置）空間とオープン空間（窓口・会議室を配置）の明確なゾーニング計画とし①来庁者と職員の動線が交差しないこと②適切な各室の関係③管理しやすさ等に配慮した平面計画としています。また、1階の会議室スペースは多様な会議に対応出来るよう移動間仕切りを設置しています。



事務室空間の再配置による狭あいの解消



EV設置によるバリアフリー化への対応



2階ホールの狭あいの解消とバリアフリー化への対応